

安心 安全 住み良いまち

こぼり コミ協だより



発行者
小針小学校区
コミュニティ協議会
会長 岩脇 正之
2017年4月発行

第 17 号

(小新自治会4区西川沿いのしだれ桜)

小針コミ協1年を振り返って

副会長 渡部 明雄

米国大統領の交代、新・新潟県知事の登場など世情は日々変化している中、小針小学校コミュニティ協議会のこの一年を振り返ってみると、近年の人口減少、少子高齢化、住民意識の多様化の中、一方では行政からの要望の強さなど、地域課題を前にたじろぐ場面も有りましたが、小針コミ協としては、亀の歩みさながら、一歩・一歩、また一歩と多少なりとも前進したものと思います。

「安心 安全なまちづくり」のため各種イベントを通しての防災・防犯への取り組み、健康維持を中心とした福祉活動、子どもたちが楽しみにしている、「こぼりっ子新春かくし芸大会」他いくつかの青少年健全



育成事業、また地域美化に努めた環境活動や親子パトミニトン教室を通じての文化体育事業など、各部会の努力と皆さまの協力で事故も無く事業実施を終えることができました。参加人数の推移や、盛り上がりなど、反省すべき点は反省しながら、総じて良くやったものだと思っております。

「地域課題は地域で」との考えが強まり、「まちづくり」や「高齢者の見守り」などいろいろな諸問題が、地域コミ協に投げかけられ、ますますコミ協の位置付けが重視され、その重さが増しております。しかし、その重要性が地域に理解されない部分もあり、苦慮しているところではありますが、いろいろな各種イベントや教室・講座・講演会を催しますので、ぜひ一度参加され、実感してみてください。

「楽しく 元気に、仲良く」をモットーに今後とも、地域の皆さまのご協力、ご支援をいただきながら、他に誇れる地域コミ協を目指してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

避難所運営スタッフの 育成を目指して

防災防犯部会長 渡辺 誠

1月21日、災害発生時の避難所運営に携わる支援スタッフ育成を目的とした研修会を自治会長、部会員37名参加し開催しました。

講師には中越防災安全推進機構の地域カセンター松井千明コーディネーターを迎え、熊本地震の支援体験話をテーマとした「熊本地震避難所の状況」及び「避難所の

初期対応と運営」について話されました。

体験談では被災地からの報道で伝えられない避難所運営の悩みや、問題点など災害発生時の対応、準備及び情報共有不足のほか、運営ス

タッフやボランティア経験不足、行政の不手際など、避難所運営に欠かせないことが指摘されました。

次年度もこれらの課題解決に向け取り組みますのでご協力お願いします。



第9回 こぼりっ子新春かくし芸大会

青少年健全育成部会長 川瀬 恭子

今年も『こぼりっ子新春かくし芸大会』が賑々しく開催されました。

9回目を迎え出場者募集開始早々からたくさん申し込みを頂くなど、すっかり地域の人気事業となりました。

ダンス・ピアノ・ギター・劇や合唱等、お友達とチームを組んでの参加や小学校最後の思い出づくりにと様々です。一生懸命に発表する姿に、会場からは惜しみない拍手が送られました。また抽選会も開催され、会場は熱気に包まれ素晴らしい会となりました。

来年は10回目を迎えます。地域・学校・子ども達の絆を繋ぐ場として開催いたします。皆様の参加をお待ちしております。



「認知症予防と地域の 取り組み」講演会

福祉部会長 鹿島 茂行

近年、認知症への関心が高まっていることから、表題の講演会を2月11日(土)小針青山公民館で同館との共催で開催しました。

講師に、神経臨床学の専門家である新潟医療センターの西澤正豊脳神経センター長を迎え、当日は悪天候にもかかわらず、応募聴講者88名が参加され、2時間にわたり講演と質疑応答に熱心に耳を傾けていました。認知症を正しく理解するための定義や予防対策、どんな治療が、そしてどう向き合うかを、事例

を示し、時折クイズや笑いを交え、分かりやすく説明されました。

また、支援体制として、「地域包括ケアシステム」構築の重要性、地域包括支援センターの役割や認知症サポーターの存在等が紹介されました。講演のアンケート満足度も高評価でした。

今後も講演会等への参加をお待ちします。



ごみ問題の解決と 環境美化の確立

環境部会長 渡辺 隆

小針地区の住民はごみ問題に非常に関心が高い地域です。地域のごみ問題解決をテーマとした「ゴミ問題の現状と今後の方針」について、クリーン新潟推進員の皆さまと環境部会員と合同で、1月21日新潟市廃棄物対策課職員を講師に迎え研修会を開催しました。

自治会のみんなが気持ちよく利用できるよう、ごみ集積所の維持管理

や公園の清掃に日々努力されているクリーン新潟推進員の悩みや、制度上の取り組みなどの問題点及び改善に向け、担当課職員と意見交換を行いました。



質疑では制度上の課題が、まだまだ自治会の方々や参加者に理解できない面が見られましたが、課題解決に向け一歩前進し有意義な研修会開催でありました。



小針コミ協に参加して

会計監査 佐藤 保二

小針コミ協に参加して一年が過ぎようとしている。活動を通じて感じたことは、コミ協の組織・活動が地域全体に理解されているかという点とまだまだ理解が行き届いていない感じがします。特に組織についてはその感が強い。

社会環境が分権社会に向けて行財制改革の推進などにより大きく変化してきていること、また少子高齢化の進展とともに町内会・自治会会員の高齢化の進行、空き家の増加、地域住民同士の連携意識の希薄化、価値観の多様化や担い手の不足等により、町内



会・自治会活動の低下が進みつつあります。特に近年は各々の暮らしが豊かになり日常生活が便利になったため、地域や隣近所とのお付き合いやコミュニケーションは、面倒で必要ないものと感じる人が増えているようです。

このような状況に対処するため、町内会・自治会、各種団体等が一体となりコミ協が組織され、行政とパートナーシップが形成されて、多岐にわたる地域課題に取り組んでいることが実感できました。

新潟市のコミ協パンフレット表紙にあるように、自分たちの手でまちづくり「それがコミ協です」を合言葉に、地域を元気に、連帯感豊かな地域社会形成でみんな課題を解決し、住んで良かったと思える地域づくりにこれからも微力ながら取り組んでいきたいと思っています。

地域の茶の間「こいってば」 の一年を振り返って

小新第二自治会 志賀 晶子

茶の間が出来、あっという間の一年でした。世話する人、される人という関係でなく、気持ち良く過ごしてもらえよう、スタッフがお手伝いしています。

茶の間の様子を紹介しましょう。初めは、お茶を飲みお菓子をつまみながら、健康不安話になり、医者のこと、薬のこととどんどん広がってしまいました。また、火事の多いことが話題になり、調理の時の袖口が危険であることなど、次々と注意する話となり、情報交換の場でもありました。それが「話もいいけど、みんなで何かす

るのもいいよ」という意見がでました。集会所の図面を書き、持ち寄れる球根・苗の配置を決め、当日作業となりました。植える人、見てる人、指示する人にとぎやかで満足できた一日でした。また、スポンジケーキに飾りつけをして、一足はやいクリスマスを祝ったり、みなさんのアイデアを取り入れてやってきました。

また、包括支援センターの方や区役所の保健師・管理栄養士をお招き



して、健康で長生きするためのお話をお聞きしました。

地域の茶の間「こいってば」では、これからも、みんなで意見を出し合い「また、茶の間の日が来ないかなあ」と楽しみにされる所にしたいと考えています。

●茶の間「こいってば」

月2回(第2・第4の火曜日)

時間 10時～15時

場所 小新第二自治会集会所



「中越メモリアル回廊」 視察研修に参加して

小針1丁目自治会(防災士) 高橋 伸絵
穏やかに晴れた3月4日「中越メモリアル回廊」の視察研修に参加しました。

数年前山古志、妙見は訪れたことはありましたが今回改めて長岡「きおくみらい」山古志「おらたる」小千谷「そなえ館」回廊と名付けられた3メモリアルパーク、4施設のうち3施設を巡らせていただきました。CGを使った防災シアター・プロジェクションマッピングシアターや地震動シミュレーター等、どの施設とも技術と工夫を凝らした見ど

ころのあるものでした。

12年前大地はどう動き、どのような大被害をもたらしたのか、また人々はどのように自ら行動したのか、避難生活は…。そして立ち上がり今に至ったのか。

同じ県内でありながらも足を運び、眼にし、生の声を聞かなければ実感でき得ない貴重な経験でした。妙見の崖崩れ現場は道路は何もなかったように車が行き交っていますが川にせり出した部分には当時のままの姿で車も残っています。

小千谷「そなえ館」で地元防災会長として労を尽くされた語り部の方の言葉が心に残っています。「小千谷で犠牲になった子供の命を無

駄にしてはいけません。これが語り部の、我々の使命です。」

どこでいつ起こるとも知れない災害に対しひとりひとりの備えと、そして日頃から培われるべき「地域の力」が自分の命を、ともに地域に暮らす皆の命を守る礎となるということを改めて痛感した一日となりました。



コミ協事務局だより(1月～3月)

<行事・会議開催等1月～3月>

- 1月21日 ごみ問題・地域美化研修会(環境部会)
- 1月21日 避難所運営研修会(防災防犯部会)
- 1月28日 新春かくし芸大会(青少年健全育成部会)
- 1月31日 コミ協だより16号発行(自治会長会)
- 2月11日 認知症予防と包括ケア講演会(福祉部会)
- 2月20日 西区避難所運営検討会(防災防犯部会)
- 2月22日 西区地域包括ケア説明会(福祉部会)
- 3月 4日 中越メモリアル回廊視察(防災防犯部会)
- 3月18日 第3回自治会長会(自治会長会)

編集後記

平成28年度の第17号小針コミ協だよりの発行も終わりました。ご講読ありがとうございました。次年度も地域を取り巻く、少子高齢化や地域活性化などの地域課題も数多く残されています。これらの地域課題の情報発信を図るため小針コミ協の役割も年々増えていますので、皆様方のご意見や情報などを基にした紙面づくりを行いますのでご協力とご投稿お願いします。

(連絡先 前田事務局長 TEL・FAX 266-1851)

